

2019年8月30日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

大湊駅と会津若松駅の姉妹駅締結について

姉妹都市として交流を続けている青森県むつ市と福島県会津若松市が、それぞれ市制施行60周年（むつ市）と120周年（会津若松市）を迎えることを契機に、むつ市に所在する「大湊駅」（駅長：松橋昌幸）と、会津若松市に所在する「会津若松駅」（駅長：我妻秀比古）の間で、姉妹駅関係を締結することにいたしました。

両駅は今後、相互の交流を通じて友好関係を深め、両市とも連携してそれぞれの地域情報の発信を行い、交流人口の拡大を図ってまいります。

1 姉妹駅締結対象駅

駅名	所在地	管轄支社	線区	開業年月日
大湊駅	青森県むつ市	盛岡支社	大湊線	大正10年9月25日
会津若松駅	福島県会津若松市	仙台支社	磐越西線・只見線	明治32年7月15日

2 締結日

2019年9月1日（日）

3 締結式

- 日時 2019年9月1日（日） 13時30分より
- 会場 下北文化会館 中庭
青森県むつ市金谷一丁目10-1
- 出席者 東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社 大湊駅長 松橋昌幸（まつはし まさゆき）
仙台支社 会津若松駅長 我妻秀比古（あづま ひでひこ）
- 内容
 - 両駅長による締結書への署名及び取り交わし
 - 記念撮影
 - むつ市長、会津若松市長、むつ市議会議員、会津若松市議会議員列席（予定）
- その他 締結式は、10時30分より同所で行われる、むつ市制施行60周年記念式典の終了後に執り行います。
※記念式典については、むつ市企画政策部企画調整課へお問い合わせください。

(参考) 青森県むつ市と福島県会津若松市の姉妹都市交流について

戊辰戦争に敗れ廃藩となった会津藩は、明治2（1869）年に、家名再興を許され訪れた斗南の地（現在のむつ市）で「斗南藩」を立藩。

明治4（1871）年の廃藩置県を機に、会津人の多くが斗南の地から全国に散って行ったが、なかには、農業を続けた島影家、我が国初の洋式牧場を開設した広沢安任のように、旧斗南藩に留まった会津人もいた。

斗南藩がむつ市一体を治めたのはわずか1年数ヶ月のことであるが、原野の開拓や斗南日新館による教育の精神は、その後のむつ市に大きな影響を与えるなど、両藩の繋がりは現代にも引き継がれており、若松城築城600年となる昭和59（1984）年9月23日に、姉妹都市の盟約を締結し、現在に至っている。